

報道関係各位

 2022年12月9日
 さくらインターネット株式会社

398人に「円安ドル高におけるクラウド予算の影響についての調査」を実施 ～回答者の8割以上が円安ドル高によりクラウドサービスの支払い料金が上昇したと回答～

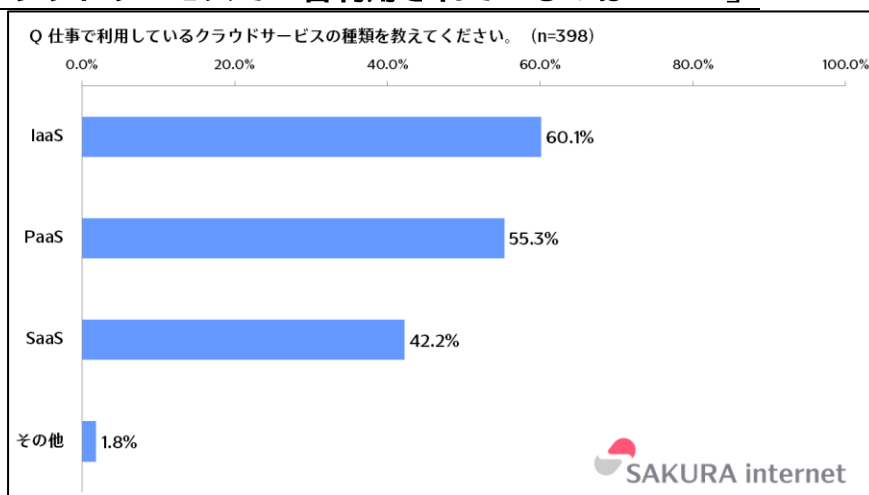
クラウドコンピューティングサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：田中 邦裕）はドル払いのクラウドサービスをビジネス利用している398人に対して、「円安ドル高におけるクラウド予算の影響についての調査」を行いました。

調査サマリ

- ・ドル払いのクラウドサービスで一番利用されているのは「IaaS」
- ・8割以上が円安ドル高による支払い料金が上昇したと回答
- ・支払い料金が月額100万円以上上昇していると回答したのは、14.4%

調査結果

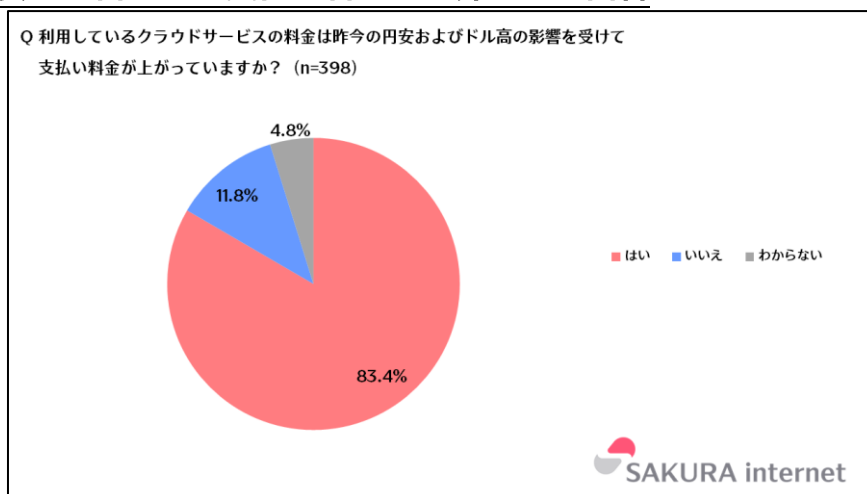
ドル払いのクラウドサービスで一番利用されているのは「IaaS」



利用されているドル払いのクラウドサービスの1位は「IaaS」（60.1%）、2位は「PaaS」（55.3%）、3位が「SaaS」（42.2%）でした。6割以上の方がドル払いのIaaSを利用していることが分かりました。

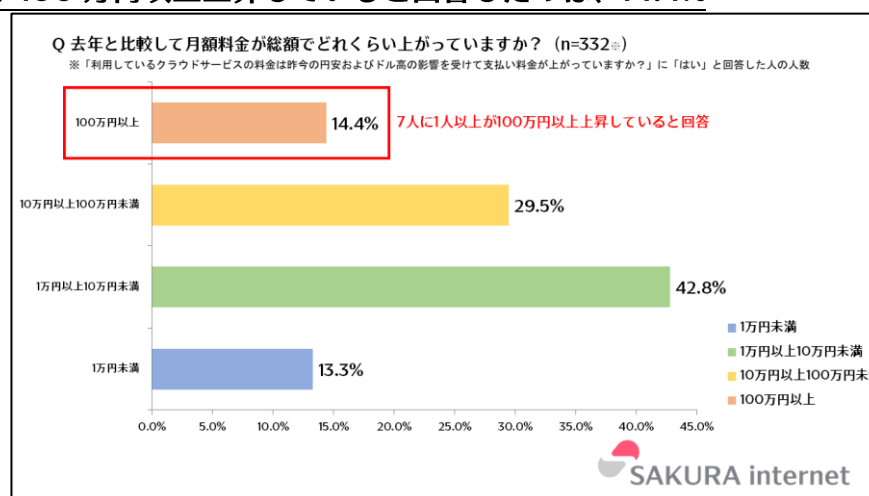
利用しているクラウドサービスの具体的な名前としては、「アマゾン ウェブ サービス」、「Microsoft Azure」、「Google Cloud」などの名前が多く挙がりました。

8割以上が円安ドル高による支払い料金が上昇したと回答



「利用しているクラウドサービスの料金は昨今の円安およびドル高の影響を受けて支払い料金が上がっていますか？」という質問に対し、「はい」(83.4%)、「いいえ」(11.8%)でした。回答者の8割以上の人利用料金の上昇を感じていることが分かりました。

支払い料金が100万円以上上昇していると回答したのは、14.4%



去年の月額料金と比較した場合の上昇総額については、1位「1万円以上10万円未満」(42.8%)、2位「10万円以上100万円未満」(29.5%)、3位「100万円以上」(14.4%)という結果でした。7人に1人以上が100万円以上上昇していると回答した。

総括

今回の調査では、回答者の8割以上の人ビジネスで利用しているドル払いのクラウドサービスの金額が上昇していると回答し、そのうち6割以上の人「アマゾンウェブサービス」、「Microsoft Azure」などのIaaSを利用していることが分かりました。

また、支払い金額に関しては「1万円以上10万円未満」(42.8%)が一番のボリュームゾーンであったが、100万円以上上昇している層も14.4%と7人に1人以上の回答となった。

さくらインターネットでは今後も、お客さまが安定して利用できるクラウドサービスを提供し、DXを支援してまいります。

調査概要

調査方法：インターネット上でのアンケート調査

調査対象：ドル払いのクラウドサービスをビジネス利用している398人

調査実施日：2022年11月14日～18日

商標

- ・アマゾンウェブサービスは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- ・Microsoft Azureは、マイクロソフト企業グループの商標です。
- ・Google Cloudは、Google LLCの商標または登録商標です。
- ・その他記載の社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

※プレスリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。

■さくらインターネット株式会社について

代表者：代表取締役社長 田中 邦裕

本 社：大阪府大阪市北区梅田1丁目12番12号

創 業：1996年12月23日

設 立：1999年8月17日

URL : <https://www.sakura.ad.jp/corporate/>

■この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 広報担当

E-mail : press-ml@sakura.ad.jp